

福島の子が初体験

サーターアンダギーに挑戦



ボランティアなどの指導を受けながら、サーターアンダギーを揚げる子どもたち。17日、那覇市の沖縄製粉サービスセンター

読んで
広がる
NIE

「夏休み福島県
青少年支援プロ
ジェクト」(沖縄
県ユースホステル

協会主催)で沖縄を訪れている福島県の子どもたちが17日、那覇市の沖縄製粉サービスセンターでサーターアンダギーづくり体験教室に参加した。子どもたちは慣れない手つきながらも、指導を受けながら一生懸命にサーターアンダギー作りにチャレンジした。

体験教室では、県内のボランティア団体「ヨイネス沖縄(崎山洋子会長)」と沖縄製粉の社員らが子どもたちをサポートした。同プロジェクトで沖縄を訪れている子どもたちは計117人。この日の体験教室には代表50人が参加し、全員分となる117人分のサーターアンダギー作りに挑戦した。

郡山市立柴宮小6年の佐藤怜空君(12)は「油で揚げるのが難しかったけど、ふつくらできて良かった」と笑顔で話した。同小4年の川島菜月さん(9)は「サーターアンダギーを作るのは初めて。生地が硬くて混ぜるのが大変だったけど面白かった。沖縄は楽しい」と日に焼けた顔で語った。児童らは7月23日から滞在しており、20日に福島に帰る。